

認知症施策 総合推進事業

- 市町村名 : 佐久市
- 担当部署 : 高齢者福祉課
電話番号 : 0267-62-2111 (内線218)
E-mail : kaigohoken@city.saku.nagano.jp
- 事業年度 : H24~H25年度
- 総事業費 : 10,707,845円
うち国補助金 : 10,707,000円

モデル事業の名称

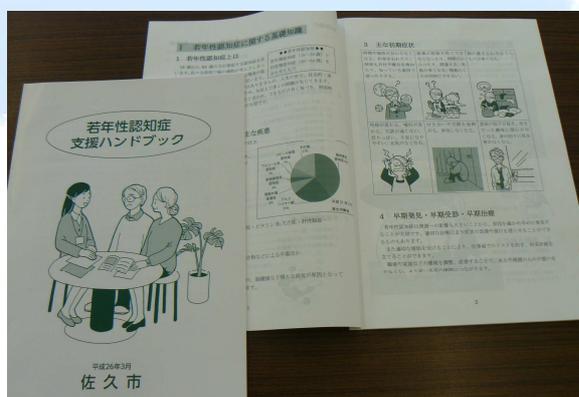
認知症対策等総合支援事業

事業の目的・概要

認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するためには、医療、介護及び生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人への効果的な支援を行うことが重要である。

このため、医療機関や介護サービス及び地域の支援関係をつなぐコーディネーターとしての役割を担う認知症地域支援推進員を配置し、推進員を中心として、医療と介護の連携強化や、地域における支援体制の構築を図る。

また、認知症地域支援推進員の活動により、認知症についての相談や病院受診等が早期に対応できる体制を整え、介護不安や周辺症状の軽減につなげる。



実施内容

(1) 医療・介護・地域支援サービスの連携を図る事業

- ・ 嘱託医との定期的なケース検討会
- ・ 認知症疾患センターとの定期的な連絡調整会議及び連携
- ・ 認知症にやさしい地域づくりネットワーク事業
- ・ 地域包括支援センターとのケース会議及び連携
- ・ 市民に対する認知症の理解等の啓発
- ・ 若年性認知症支援ハンドブックの作成

(2) 認知症の方や家族を支援する事業

- ・ 認知症介護者家族会
- ・ 認知症講演会
- ・ 若年性認知症の方とその家族の交流会

事業効果

- ・ 認知症の医療や介護について、地域の関係機関との連携が進み、認知症の方や家族に対する早期の対応が可能になってきた。また、地域包括支援センターや居宅事業所などからの、認知症の方や家族への対応についての相談体制が整い、支援者のスキルアップにつながっている。
- ・ 若年性認知症支援ハンドブックを医療機関等に配布することにより、関係者の関心を高め、当事者やその家族に対し相談支援ができることを周知できた。
- ・ 介護者支援を行うことにより、認知症の方やご家族が安定した生活を送ることができている。

今後の展開

市民や関係者の認知症の理解は進んでいる。認知症の方が住み慣れた地域で生活できるためには、その方を取り囲む、地域ぐるみの連携や取り組みが有効と考えるため、認知症地域支援推進員を中心に地域包括支援センターと連携し支援体制を発展、充実させたい。

